

芝町をめざして

18億7,750万円



▲施策をのべる佐瀬町長

町議会三月定例会は、十日から十六日まで七日間の会期で開かれ、一般会計や特別会計の当初予算をはじめ、新東京国際空港に関連する諸対策および従来福祉保健課で行っていた環境衛生業務を行うための新課の設置、五十二年度補正予算など十四議案を審議し、全議案を原案どおり可決し、閉会しました。

佐瀬町長は冒頭、「明るく住みよい横芝町の建設」をめざして、町政推進の施策をつぎのように述べました。

不況脱出に全力投球 福祉の向上

町長 佐瀬 哲司

最近の地方財政は長期にわたる経済不況のため、歳入面においては税収・地方交付税などの一般財源の減収が生じ、その後もこれらの収入が伸び悩んでおり、反面歳出面では給与関係経費、社会福祉関係費など義務的経費が増加するなかで、社会福祉の充実、生活関連施設の整備など、いわゆる住民福祉の向上のための施策の拡充を図っていかねばならないという、極めて困難な局面を迎えております。このような状況は一時的なものではなく、わが国の経済が従来の高度成長から安定成長へと

移行定着するまでの間、地方自治体の財政は益々困難な事態が続くものと覚悟をいたさねばなりません。地方自治体の責任者は、充分その点を考えながら健全財政の堅持を基本的姿勢とし、積極的な財政運営により、不況からの脱出と町民の福祉の向上を図ることを第一義としなければならぬものと責任の重大さを痛感する次第であります。

このような環境下における当町の本年度重点施策といたしましては、昭和六十年の横芝町を展望して、四十七年三月に作成した基本

構想をふまえて、「明るく住みよい横芝町の建設」のために開発の基本を新時代への基盤の整備、均衡と調和のとれた産業の振興と経済開発、快適な生活を送るための社会開発、健康で文化的な人づくりのための教育文化の振興の四点におき、昨年策定いたしました五カ年計画を骨子として五十三年度の諸施策を樹立いたしましたのであります。

①新時代への基盤の整備

特に道路網の整備として、一六、八四五千円（前年比三〇・八%増）を計上し、空港騒音地域に對しては特に配慮しました。また、騒音直下の発展と地域住民の利便を図るための新道建設については五十三年度中に地元住民の意向を充分検討し、路線決定、騒音対策関連道路としての認定採択のために若干の予算を計上しました。

町民生活の保全については、航空機災害ならびに海岸災害などに備えて、消防施設には一〇五、七五五千円（前年比六六・七%増）を計上し、消防力の増強により非常勤消防団の育成強化を配慮しました。

②均衡と調和のとれた産業の振興と経済開発

農業の振興費として一四、六〇一千円（前年比二二・八%増）を計上し、特に米の余剰問題による稲作転換対策には重点的に予算計上しました。

商工業の振興についても、長びく不況と大型店の進出なども伝えられ、その経営はますます困難な状況下にあり、これらの施策のために商工会の運営補助金を増額して、不況対策指導態勢に万全を期すつもりです。また、中小企業振興資金の利子補給金も前年度より増額し、町内商工業者の経営の安定を推進したいと思っております。

③快適な生活を送るための社会開発

生活環境の整備に重点を置き、新しく空港環境対策課を設置して空港関連の諸対策ならびに環境衛生全般を担当させ、積極的に業務の推進にあたるつもりです。

特にゴミ対策については小型焼